

上空より眺んだ三次市の中心街（三次市役所提供）



第2号

昭和49年2月1日発行
発行人 得能長絃
編集人 永井又太郎
印刷所 広島県双三郡吉舎町 佐々木印刷株式会社

私達が知っておきたい医学的知識

急性CO中毒症

第25回広島医学会北部支部大会発表

資料提供： 双三中央病院 石田 実

一般症状

- 1. 軽症 血中Hb-COが二五%以下
2. 中等症 血中Hb-COが五〇%以下
3. 重症 血中Hb-COが五〇%以上

治療

- 1. 蘇生法 人工呼吸、O2吸入
2. 吸入ガスの問題
3. 低酸素症の治療
4. 特殊療法 A、高圧酸素療法

後続症の病型分類

角膜反射・痛覚は存在するが更に進めば瞳孔散大、対光反射消失、尿糞失禁、筋痙攣麻痺、特徴として口唇や皮膚が桜桃様色を呈すると云われている

随筆 ずいひつ

谷岡 只雄

「巴香」に随筆をとることでしたが、くだらぬことで紙面を費すのは、心苦しく思います

ずいひつ・随筆・ずいひつ・随筆・ずいひつ・随筆・ずいひつ・随筆

私が、最初開業挨拶廻りにA君を訪れた時、待合・玄関超満員にも不拘、応接室へ通され待つ事数分、その間に、白衣を背広に着替へ、いとも丁寧な応対振り、それから数日後、答礼にと来訪を受けた時また、キチンとした服装で、言動共実に礼儀正しいことでした。

この二回の会談で二人は、完全に意気投合、親密に成り、爾来戦争中のごときで、何は無くとも互い招いたり招かれたり度々、食事を共にするようになったが、その食事が大変、時々お得意の山または、川獺の獲物をご持参、自分で手料理のご自慢、差しつ差されつ、大いに飲み、然し「メートル」は上つても、二人共歌は大の苦手、只話に花を咲かせつつ盃を重ねる内に夜は深けて一時を過ぎるのがおきまりでした。

宴終つて、お帰りの際が又大変、送ったり、送られたり、当時は夜中には、街に車は無く、人通りも少なく、誰憚る事もなく、二人は腕を組み、路は我物顔に聞く人も無いのに、気縮萬丈尽きる事無く、同じ街を右往、左往、往復二、三回にも及び翌朝笑われた事も屢でした。その親友悲しくも故人と成られ、早くも十三年誠に心淋しい事となりましたが、今もって当時を思い出し、たまらなく懐か

しく時には「アルバム」まで持出し、噂しながら当時の愉快さを再然させています。げにも、持つべきものは、真の親友かな、とつくづく考えさせられる今日この頃です。十三回忌五月三日(？)久々にお墓の前で、語りたいと思う。

私の闘病と近況

慶雲先野村岡崎宅 岡崎利之

今度、双三地区医師会は、「巴杏」会報が生れ、今医界の各方面の多岐多難の時期に、これを突破するに貢献すること喜んでおりますが、併し、この事業は、何時となくすたれ易い例がありますので、笑物にならぬ様会員一同充分なる配慮と努力を御願ひ致します。

私は、皆様御存知の通り、三次に昭和七年以来開業、三十七年より外科専攻の長男と共に診察しておりましたが、私が四十五年一月三日、突然胃出血で吐血、下血多量で、貧血昏睡状態となり、広大教授・助教・その他多数医師の来診を受けるも容態險悪の為、直に手術できず輸血、輸液あらゆる内科的療法するも出血止まらず同時に、右下肢に発作的に強痙攣性疼痛で、耐え難き苦痛で何の注射も効なく、只一つ輸血すれば痙攣強痛が、一時軽快する。この理由は、今回の胃出血以前、二年位長道や坂道歩行時に、右大腿部に疼痛ありたるも、常時は、何等障碍なく放ておいたが、胃出血にて、右下腹部動脈血栓ありて、右風蹠部の動脈拍触れず、虚血症状の疼痛とわかつた。併し、出血後一週しても止らず、右下肢の痙攣激痛で苦しく最早死んだ方が良いと思

ブロック便り

吉舎医師会
旅行記

田中恭生

吉舎医会年中行事の一つである秋の懇親旅行は、一昨年の江田島旅行について昨年は、島根県有福温泉へ一泊旅行を行なった。

十一月十七日(土)、午後三時、タクシー二台に分乗して出発したが、一年のうち晴れて一夜を他郷で男同志で解放される諸氏は、出発時から、いそいそと胸をふくらませ、小学

うた。患者が、難儀の時に、医師に「早く参らせて下さい。」と云うのも自分で体験できました。前述容態で危険ありても、胃手術すべきと判断され、広大の上村、岩森両先生の執刀で、手術も幸いに無事終了しましたが、私は、意識混濁で手術前後のことも三日目に、手術せることを知りました。胃手術後は、出血止り、大腿部の痙攣疼痛も軽快に向い、一応危機を脱した。

出血後の後続症

(一)、輸血総量六千ccであり、血清肝炎で軽度黄疸二回発現、肝肥大認めず肝機能検査中等度増値なるも、現時では、正常に近くなつた。

(二)、右下腹動脈血栓による右下肢不全麻痺、右臀部及び右足趾離拇創が永く続き治癒する。

(三)、左臍胸で助間切開排膿洗液約一ヶ月で治癒。

四、糖尿病一時血糖値上昇するも今は正常値となり普通食と日本酒少量飲みます。現在は、何等苦痛もありませんが、右下肢の不全麻痺で、歩行障碍で、家の内はやつと歩行しますが、戸外では杖を頼りに歩行の練習しております。

末筆で恐縮ではありますが、本会員の方々の、御見舞、御芳志にあずかりました段、厚く感謝致しております。只残念なことは、会員の内に元気で私を見舞うださいました堀川、佐々木、近藤の各先生が故人になられたことです。謹んで哀悼申します。

今一つは、不肖四十六年春の叙勲に受章しました際は、本会員の多数の方々より、又県医師会よりも記念品戴き共に厚く御礼申し上げます。

新炎症・腫脹緩解酵素剤

ダーゼン錠

「タケタ」 消炎・腫・血腫・粘液融解

武田薬品工業株式会社

抗動脈硬化剤
抗キニン性・抗遅延型炎症反応因子性
血管透過性亢進阻止剤

ANGININ

BANYU PHARMACEUTICAL CO.,LTD

ブロック便り

生の遠足の如く意気軒昂たるものがあつた。なお、当日は、藤谷先生の御殿父の病状思わしくなく欠席されたのは、この旅行に一抹の淋しさを加えた。

の爪の跡も生々しい個所がいくつあり、特に、二六一号線は、右に断崖を見下すように江の川が流れ、道路は下からその中央線附近まで狭れた場所があり、対岸に新国道を建設中であるためか全く災害当時のまま放置され、舗装もはげて離合時には、心胆を寒からしめることが二、三回あつた。それでも話に花が咲き、景色に見とれているうちに、予定通り午後六時三十分、当夜のねぐら「有福園

際グランドホテル」に到着した。当ホテルは、各室バス、トイレ付であつたが、全員で大浴場に行くことにした。というのは、「男湯と女湯の仕切りはあるが、壁は浴槽の水上十五cm位迄で、下の浴槽は、つながっているの、大丈夫だから元氣を出して潜って下さい」という宿の女中さんの激励の言葉に全員勇を鼓して入浴したのであるが、遂に全員潜る元氣の者がいなかったのは、吉舎医会



紹介 児玉二郎先生

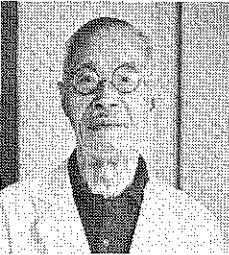
明治二十三年七月二十日生 住所 双三郡三和町敷名 四七〇四の一 大正十年二月、現地で開業、現在に至る。 御子息は、山県郡大朝町で外科医院を開業。

森戸登守先生



明治二十四年十一月二十五日生 住所 福山市の座、誠之館中学より岡山医専に学び、大正四年卒

高岡 義務先生



明治二十五年二月三日生。住所 三次市栗屋町 大正六年九月より、大正十一年四月迄、三次町で開業、以後他地

業し、縁あって大正七年、三次町区病院に勤務され、昭和四十四年七月栗屋町に、内小児科を開業。三十五年十月、往診中交通事故に遭い、左鎖骨骨折左胸打撲症の為、約半年休養し、その後は、体力に応じ患者の診療もして来ました。

谷岡 只雄先生



明治二十五年十一月五日生。住所 三次市三次町一五九三 昭和十六年、三次町にて産婦人科を開業。 昭和三十五年十二月、御子息の谷岡慶宣先生に院長を譲渡され、自ら副院長として現在に至るも、殊に成人病予防協会の子宮癌部会での御活躍は、若い者の範とすべく、広島県全域を献身的に出張検査されている。趣味は、魚釣。

老いたりの感を深うした。

七時半頃より宴会に移ったが、宴会の途中より突まじりの風雨雪がはげしく、停電、落雷などの予期せざるハプニングがあつたものの、全員停電、落雷中は、品行方正であつたことを幹事として報告しておく。当地の芸者さん、ホテルのホステスさん達全員若くて美人揃い、しかも芸達者ときているので皆快く酔が廻り、大変愉快な幕切れであつた。我々は、女性達に未練を残し、女性達は我々に後髪をひかれる思いで帰って行った。(ヨウニ思ウ)。

翌朝は、九時起床、昨夜からの霽は、まだ降り止まず、ふるえ上りながら昨夜のホステスさん達の振る手に応えながら、十時松江市へ向け出発、正午頃、松江市に到着、松江市を観光した。ここにも

穴道湖に公害の波が押し寄せていると聞き、信じられぬ程の美しい静かな古都の佇まいに心の和むのを覚えた。

帰途、頓原附近より吹雪に見舞われ、山は白一色の景色と変わり、寒気が肌に感ずるようであつた。赤名トンネルを越すと白い景色は一変して眼前には、紅葉の山々が展開され、陰陽の違いを今更ながらまざまざと見せられた次第である。夕食は、三次市の太平でとり、午後十時三十分、約三十分間ぶりに懐しの吉舎へ帰ってきた。

最後に、吉舎医会は、予防接種成人検診、学校医などの手当を全額医会の会計へ納入し、その収入でもって会員の研修、学術研究、旅行及び諸種の会費などに充当していることを申添えておきます。

ブロック便り

三次医会歌合戦

三次医会では、昭和四十八年も後十日余を残すのみ師走、水銀灯が江川にゆれ、夜霧にしっとり光る頃、川辺りの静かな佇まいの料亭で、紅白ならぬ白の歌合戦をかねての忘年会を催しました。会長野島先生の音頭でまず乾杯、メートルがあがるに従って、自然に歌が始まりました。最初は荒瀬先生、三船浩型です。即ち、低音でよく通る声、格調高い節まわしの民謡です。次は野島先生の小唄、少し掠れていますが、古武士を連想させる寂のある深い声、それもそのはずラバウルの勇士です。次は、知る人ぞ云う永遠の青年小川先生、同期の桜「全員合唱付」目もとすずしい堂々たる青年士官を連想します。さて色の白いは、七難かくす白面の藤井先生久し振りの登場です。桜色になって高田浩吉調、次は私で軍歌、続いて佐々木先生は最新型流行歌、申し遅れましたが、この二人が審査員？です。でノークメント。なお、佐々木先生が本日の名司会、名演出をやってくれました。舞台はめぐり少し狭いが、甘い近代の流行歌でかなりいいところは箕岡先生、ゴルフの方はどうか知りません。アンカーは、童謡「月の砂漠」で谷岡先生、森繁調よりスリット可愛いです。ワン

ラウンド終りアリアヤドイツリ
ドこそ出ませんでした、まだ名
演熱演あり、紙面の都合で発表で
きないのは残念です。結局、優賞
は荒瀬先生でした。それから車で
セカンドサイド、全員ホームイン

した筈です。
なお、永井先生は、急用で御出
席かなわず小唄虎造ばりの浪曲が
聞けずに残念でした。
(舟木記)

医師会だより

(昭和四十八年十二月十五日)
(昭和四十九年一月)

昭和四十八年十二月十五日(出)

午後五時

合同役員会

場所・三次市十日市町「嵯峨」
出席者・得能会長・鳴戸・荒瀬
両副会長・横山・中村・小川保・
佐伯・田中・永井各理事・星田
議長・吉光・石田各監事。

(1) 報告事項

(1) 中央情勢について、得能会
長より中医師協の現況に関し
説明。

(2) 臨床検査センターの上中期
の収支決算の概要報告。

(3) 会報(巴杏)創刊号編集発行
に関する件を永井理事報告。

(2) 協議事項

(1) 三次税務署より、説明懇談
会の日時設定の件。

期日・昭和四十九年一月十
七日(木)と決定(後述)

(2) 県医師会で作成した医療事
故に関するスライド上映に
関する件。永井理事より説
明があり。
当地区は、新年度総会日に



上映する事に決定。

(3) 医師会館周辺の庭の舗装に
ついて。

現在業者にて、見積中で、実
施期日は未定なるも舗装す
る事に決定。

(4) 年末・年始の臨床検査セン
ター休暇中に限り、中国武
道警備保障株式会社(ガー
ドマン)による警備依頼の
件。種々検討の結果、依頼
を決定し、更に防犯用非常
ベルの設置も予算を検討の
上、将来設置する事を内定。

(5) 某会員より石油不足の対策
を、医師会として特別配慮
されたしとの意向あり、検
討した結果、直ちに保健所
と連絡して善処する事に決
定。

昭和四十九年一月十七日(木)

午後四時
場所 双三地区医師会館講堂

三次税務署との説明

懇談会開催

内容

(1) 収支状況報告書提出の書き
かたについて。

(2) 青色申告について。

(3) その他。

三次税務署調査部門上席国税調
査官、清水静夫氏外一名技官臨
席で実施。

昭和四十九年一月二十五日(金)

午後七時三十分

第四回会報

編集委員会

場所、石田無線二階会議室。
出席者、永井理事・岡崎・箕岡
藤谷各先生・中西事務長。

協議事項

(1) 掲載資料として、第二号は、
巴橋を含む三次市の中心街
の写真を掲載する。爾後は、
当地区内の名所、旧跡の写
真を掲載する。

(2) ブロック便りは、連載し第
二号の原稿のメ切りを二月
下旬迄とする。

(3) 随筆を大先輩の国手の方か
ら戴くよう御依頼する。

(4) 会員紹介欄を設置し、高年
齢順に、原則として該当諸
先生の家族写真や近況を掲
載する。

(5) 学会便り或は、興味ある症
例報告を掲載する。

(6) 「巴杏」第二号は、二月一
日付で発行とし会員配布は
三月末日を目標とする。



(永井記)

編集後記



音もなく降る春雨に霞んだ
尾関山を眺める時、春のおと
ずれを感じる昨今です。

大変遅引致しましたが、漸
く第二号を発行する事ができ
ました事を感謝しています。

殊に、本号には、大先輩の諸
先生方から御玉稿を賜わり、
錦上花を添えた感じが致します。

また、本号より会員の先生方
の家族紹介を順次させて戴く
事に致しました。まだ発足し
たばかりですが、原稿の御寄
稿が少ないのは、心淋しく思
います。

次号より全会員協力一致し
て、この「巴杏」を、細く長
く立派に成育させるよう絶大
な御協力の程を、お願い致し
ます。

本号の発行に当り、御投稿
を賜わった諸先生方に厚く御
礼申し上げますとともに、今
後の御健康と御活躍を、お祈
り致しております。

永井記

鎮痛・抗炎症剤

バンフラミン®カプセル

一般名=塩酸チノリジン (単位当り ¥28.00)

製造=吉富製薬株式会社
販売=武田薬品工業株式会社

消化器系鎮痛・鎮静剤

Daipin®

上腹部痛に制酸剤の効果持続に...

ダイピン錠
一般名メチルスコポラミン・メチル硫酸塩別番号106

第一製薬株式会社 東京都中央区日本橋三丁目14番10号

CERM社リハム・フランス増産品